

かがやけ

佐世保市立猪調小学校

文責 校長 鶴田 和久

後期がスタートしてから、3週間が過ぎました。その間、学校通信25号で紹介させていただいたYOSAKOIの後、鎌倉神社のおくんちや小学校体育大会など、校外での活動や保幼小連携交流という校外からのお客さんを迎えての活動がありました。前期の間に培った「静と動のけじめ」をしっかりとつけながら、それぞれの役割やめあてに向かった活動を行うことができました。

お世話になりました 鎌倉神社例大祭

10月24日(水) 4、5、6年生の児童による子ども神輿の牽引と有志による竜王太鼓演奏という役割をいただき、鎌倉神社例大祭へ参加させていただきました。

途中、沿道の方々へ猪調小学校の子どもたちがあいさつを行うと、笑顔であいさつを返していただきました。その笑顔の優しいこと。日頃からこのような笑顔で子どもたちを見守っていただいているのだなあと改めてうれしく思いました。

また、若宮神社へ到着した際には、「お疲れ様」と地域のみな様の温かい笑顔に出迎えていただき、飲み物なども振る舞っていただきました。限られた時間ではありましたが、多くの地域の方々の笑顔とふれあうことができました。貴重な体験をさせていただき、ありがとうございました。



はきはき きびきび にこにこ 小体会

10月25日(木) 相浦総合グラウンドの陸上競技場において、猪調小学校が所属する佐世保市Dブロック小学校体育大会(小体会)が開催されました。

当日は、暑いほどの晴天で、まさに小体会日和といつてよいくらいでした。

約600名のDブロック6年生の中で、猪調小学校の6年生は、元気な声ときびきびした動作で小体会の各種目に取り組み、にこにこ他校の6年生と交流することができました。

楽しい思い出を作ることができたと同時に、はじめて出会う多くの同年齢集団の中で、しっかりと自己表現を行うことができ、よい経験をすることができました。また、少したくましくなった6年生です。



来年の4月は 最高学年として

10月25日(木) 6年生が小体会で留守にしている間、江迎青い実幼稚園と潜竜聖母幼稚園の年長児さんを学校に招待し、5年生児童との交流活動を行いました。

クイズや塗り絵など計画を立て、コーナーを設置し、一緒に活動しました。そして最後は、給食を一緒に食べました。

来年の4月、新1年生として猪調小学校に登校してくるときは、最高学年として出迎える5年生。少しずつ、心の準備もできているようです。



全国学力学習状況調査

4月17日（火）今年度の全国学力学習状況調査が行われました。

すでにご承知のことだと思いますが、この調査は、全国の小学6年生を対象としたもので、学力や学習環境、生活習慣の状況や課題を把握し、今後の指導に生かすことを目的としています。今年度の学力調査は、国語・算数に加えて、理科についても行われました。

その結果は以下のとおりでした。（数値による表記ではなく、文章によるものになっています。）

1 教科別学力調査結果の概要

国語A（知識） 全国・県の平均とほぼ同じ。
国語B（活用） 全国・県の平均を下回る。
算数A（知識） 全国・県の平均をやや上回る。
算数B（活用） 全国・県の平均をやや下回る。
理科（知識・活用） 全国・県の平均をやや下回る。

* 国語、算数ともに、基礎的な学力に関しては、ほぼ全国や県の平均と同じ結果が出ており、A問題、B問題を単純に平均した場合、国語では、「読む力」は全国平均を上回っており、算数では、「図形」の領域は全国平均を上回っていました。

また、理科では、最初から知識と活用問題が混在していますが、「エネルギー」と「地球」という区分において、全国平均を上回っていました。

特に、

国語A問題における「目的に応じて必要な情報を捉える」

B問題「目的に応じて、複数の本や文章などを選んで読む」

といった「読むこと」の問題

算数A問題「小数の除法の意味」「百分率を求める」

B問題「図形の構成要素や性質を基に集まった角の大きさの和が 360° になっていることを記述する」

といった「数と計算」や「図形」の問題

理科 「より妥当な考えを作り出したり、改善したりする」

問題などについては、よくできていました。

逆に、課題としては以下のことがあがってきました。

国語A問題「自分の想像したことを物語に表現するために文章全体の構成の効果を考える」

B問題「話し手の意図を捉えながら聞き、自分の意見と比べるなどして考えをまとめる」

といった「書くこと」の問題

算数A問題「単位量あたりの大きさを求める問題」「除法で表す2つの数量関係理解」

B問題「示された考えを解釈し、条件を変更して数量関係を考察し、分配法則の式に表現する」

といった「数量関係」

理科 「実験結果を基に分析・考察し、記述する」

などの問題においては課題が感じられました。

2 学習状況調査結果の概要

朝食については、ほとんどの児童が毎朝食べており、起床、就寝に関してもほとんどの児童が毎日同じくらいの時刻であり、安定した生活を送ることができています。

自分にはよいところがある、または、ややあると100%の児童が答えており、自己肯定感、比較的高いものがあります。

地域の行事に参加していますかという問いに関しては、83%の児童が当てはまる、または、やや当てはまると答えており、地域への興味関心の高さが表われています。

「算数の新しい問題を解いてみたい」「理科に関することでもっと知りたい」と思う児童が全国平均より低い。

「将来の夢や目標をもっていますか」という問いに対して、「もっている」「ややもっている」と答えた児童が全国平均よりやや低い。

3 課題克服に向けた取組

上記の結果を踏まえて、学校では以下のような取組を進めていこうとしています。

- 授業中に「書く」ことを、また、家庭学習や学習タイムにおいては、条件作文や要約、視写を計画的に位置づける。
- グラフや表の読み取りだけではなく、目的や条件に合った解釈まで行うようにする。
- 目的をもって実験・観察ができるようにし、ふり返る活動を充実させる。
- 児童会活動等児童の自主的自治的活動の充実を図り、授業時の意欲を高める課題設定や降り返り活動の工夫を行う。